

うえのあつし  
上野 惇史さんが県体育  
協会長から褒状を受賞



昨年、国体のウインドサーフィン競技で6位に入賞して、県教育長から褒状を授けられた上野惇史さん

県武道館で開催された「平成19年茨城県体育協会会長並びに茨城県教育長褒状授与式」で、上野惇史さん（岩瀬地区・青山学院大学）が県体育協会長から褒状を贈られました。

これは、昨年国体やインターハイなどで活躍した選手や団体を表彰するもので、上野さんは、3年連続でウインドサーフィン競技で国体に出場。昨年6位に入賞したことが認められたものです。また、大学生の大会のインカレでは学生ナショナルチームのキャプテンとして初の優勝を成し遂げました。

全日本トライアル選手権  
シリーズ第1戦関東大会が開催



トライアル競技は、ヨーロッパで人気のクロスカントリモータースポーツのひとつで、全日本選手権は全国7、8か所を転戦して開催される、国内最高峰のトライアル選手権です。

この競技は、専用のオートバイで、坂道や荒地などに設けられたセクション（採点区間）で、決められた時間内に、いかに足をつくことなく走り抜けるかを競う競技です。当日は、各クラスの選手をはじめ関係者約300人が参集。国内トップクラスのライダーの神技とも言えるテクニクに、集まった約2,300人の観客は拍手を送っていました。

08MFJ全日本トライアル選手権シリーズ第1戦関東大会が、真壁トライアルランドで開催されました。

建築士会桜川支部が「まちづくり  
グリーンリボン賞」を受賞



石岡市で開催された「まちづくりシンポジウム2007」の席上で、まちづくりグリーンリボン賞を受賞した、茨城県建築士会桜川支部の皆さん

真壁地区街並みに調和する黒板塀で修景作業に取り組んでいる茨城県建築士会桜川支部が、平成19年度「まちづくりグリーンリボン賞」を受賞しました。

この賞は、景観に配慮した建築物や優れた住環境の整備を行った個人または団体に贈られるもので、同支部有志の皆さんは、個人宅の既存のブロック塀を街並みに調和するような杉板でカバーし黒板塀を完成させました。「今後も、建築士としての知識と技術を活かした、まちづくりを行っていきたい。」と、皆さんは話していました。

萩原石材(株)から市教育  
振興に100万円の寄付



萩原石材(株) 植木総務部長(写真左)が来庁し、中田市長(写真右)に100万円の寄付が手渡されました。

萩原石材株式会社(長方地区・萩原方社長)から、桜川市の教育振興に役立ててくださいと、100万円の寄付がありました。

これを受けて市では「桜川市スポーツ芸術文化振興協会」への補助金として役立ててまいります。この協会は、スポーツおよび芸術文化の振興のために、団体と個人に対して必要な助成などを目的としています。ありがとうございます。

ミニバスケット新人大会で  
大和天国ブルーウィングスが優勝



第2回桜川市ウインターカップミニバスケット新人大会で優勝に輝いた、大和天国ブルーウィングススポーツ少年団の皆さん

真壁体育館と南飯田・羽黒両小学校体育館を会場に開催された「第2回桜川市ウインターカップミニバスケット新人大会」で、大和天国ブルーウィングズ(男子)が優勝に輝きました。

大会には、県内の強豪チームが男女合わせて32チーム(男子女子各16チーム)が参集。1回戦から白熱したプレーが展開された中、見事、同チームが優勝に輝きました。「新チームになって初めてのタイトル。これに満足することなく、これからも練習に励みます。」と、選手の間には話していました。

真壁ダンスサークルが  
ベストダンスサークル賞を受賞



様々な地域行事に参加し、ダンスの普及に貢献したことが認められ、「つくばスポーツアワード2007」で、ベストダンスサークル賞を受賞した、真壁地区ダンスサークル代表者の皆さん

つくば市で開催された「つくばスポーツアワード2007」表彰式で、真壁地区ダンスサークルがベストダンスサークル賞を受賞しました。

つくば市で活動するスポーツ5団体で組織する「VISIONネットワーク」主催のこの表彰式は、競技成績や地道な活動に取り組み団体などを紹介し、スポーツコミュニティの構築が目的。同サークルは、幼児から大人までの5つのダンスサークルがあり、1年を通じて様々な地域行事に参加し、ダンスの普及に貢献しました。

子どもたちが日本の  
伝統文化の「茶の湯」を体験



桜川市真壁町文化協会茶道部指導のもと、子どもたちは楽しく茶道を学び、回を重ねる度に上達しています。

子どもたちに、日本伝統文化の茶の湯を知ってもらおうと、真壁中央公民館で、桜川市真壁町文化協会茶道部が茶道文化体験教室「茶の湯でチャチャチャ」を開催しています。

この体験教室は、文化庁から委嘱された伝統文化子ども教室の一つで、市内の小中学生を対象に昨年7月から全15回にわたって行われているもので、お茶のお点前だけでなく、陶芸やお菓子作り、浴衣の着付けなども取り入れた教室に、子どもたちは毎回楽しく茶の湯を学んでいます。

マカベシルバートピア利用者が  
地元小中学生と心の交流



マカベシルバートピア(真壁町東山田地区)の利用者の皆さんが、地元桃山中学校3年生に「合格祈願だるま入り応援カード」と真壁・紫尾小6年生に「卒業祝いカード」を贈りました。

これは、利用者の皆さんが、日頃ボランティア活動などでお世話になっている子どもたちにも、お礼と激励を込めて贈られたものです。「子どもたちのために頑張ってください。ご利用者の皆様に感謝しました。」と、今後も、継続していきたい。」と、宮本理事長と職員の方は話していました。